(評価対象年度:平成27年度)

施設名	加古川市営駐車場
指定管理者	テルウェル西日本株式会社
指定期間	平成27年4月1日から平成32年3月31日まで
施設所管課	総務部 管財契約課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(台)	291,678	274,160	平成 27 年度から駐車料金を改定したことや、無料 Wi-Fi 設備を導入するなど利用者へのサービスを充実させたことなどが要因の1つと思われる。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	29,139,045	_	
(うち指定管理料)	29,139,045	_	平成 27 年度から指 定管理者制度による
(うち利用料金)	0	_	た官理名制度による 管理運営を開始
支出金額 (円)	27,055,832	_	

3 自己評価

自己評価コメント

当初予定した利用者サービス向上施策については、計画通り実施することができた。建物診断についても指摘事項の改善に向けて取り組んでいる。また、管理面については、マニュアルを作成しスムーズな業務引継ができるよう努めている。トータル的に概ね良好といえる。

4 施設所管課評価

運営 (サービス) に対する評価 施設の運営については、概ね事業計画書どおりに実行できたため、 良好といえる。また、無料 Wi-Fi 設備の導入などサービスの充実にも 努めることができている。

利用状況に対する評価	場内案内の強化など、混雑時等における利用者の安全確保に努める ことができている。
自主(指定)事業 に対する評価	実施する事業なし
施設維持に対する評価	清掃、剪定、修繕など適正に実施し、良好な維持管理ができている。
収支状況に対する評価	指定管理料の範囲内で支出がまかなえており、問題はない。
総合評価	マニュアルの整備や業務引継において改善の余地はあるが、概ね良好といえる。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	加古川市斎場
指定管理者	株式会社五輪
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	市民部市民課

1 利用状况

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
人体受付件数	2,369 件	2,377 件	件数は減少しましたが、高齢化社会 のため今後増加すると思われます。
小動物受付件数	1,952 件	1,895 件	愛犬家が多いため、増加したと思わ れます。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	81,214,079	85,770,160	
(うち指定管理料)	81,212,189	85,768,593	光熱水費等の返還額 の増加
(うち利用料金)	0	0	
支出金額(円)	79,892,742	85,197,377	燃料が安定し、金額 が下がったため

3 自己評価

自己評価コメント

自家用車での利用者増加に対して、標識の設置による事故の防止、 スロープ案内板の設置による安全な通路の確保を行った。また、腐敗 した敷地内用水路の蓋を更新し、散歩される方への危険の回避を行い、 斎場を利用される市民の皆様の安全を考慮した運営が行えた。

運営(サービス)	自家用車での来場者の増加に伴い、車路、通路の導線を考えた案内表示を設置し、事故防止、利用者の安全確保に努めた。
に対する評価	利用者からの要望の中で、公平性や利便性を考慮した上で、対応すべき事案については検討、実施している。
利用状況に対する評価	火葬件数 (人体) は平成 26 年度 2,377 件、平成 27 年度 2,369 件で 8 件減少しているが、小動物の火葬件数については平成 26 年度 1,895 件、平成 27 年度 1,952 件で、57 件の増加となっている。火葬炉の維持、耐久性、修繕計画も踏まえながら、効率的に火葬を行なっている。

自主(指定)事業に対する評価	実施する事業なし
施設維持に対する評価	修繕は優先順位をつけて計画通り実施されている。 清掃、植栽管理、設備の保守点検は外部委託により、適切に実施されている。特に植栽管理については、施設内設置のアンケートで、癒された、大変満足しているなど高く評価されている。
収支状況に対する 評価	部分消灯などを徹底したが、電気使用量の削減はできなかった。 朝夕の室温チェックを行い、無駄な空調運転を減らした結果、空調 灯油の使用量の削減ができた。
総合評価	老朽化が進んだ施設ではあるが、人生終焉の場に相応しい安らぎを 与える施設として施設の管理、設備のメンテナンス等が十分実施され ている。また、利用者に対して公平、公正な業務の執行が行なわれて おり、特段大きなトラブルもなく、適正に実施されている。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	加古川市立勤労会館
指定管理者	一般社団法人加古川労働者福祉協議会
指定期間	平成27年4月1日から平成30年3月31日
施設所管課	地域振興部産業振興課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	75,066	85,830	前年度途中から改修済の市民会館が 開館したため。
利用件数(件)	3,151	3,423	同上

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	18,493,166	19,239,947	
(うち指定管理料)	15,229,591	15,722,249	光熱水費返還額の増 加
(うち利用料金)	3,262,730	3,516,640	利用者減による減少
支出金額 (円)	18,524,925	19,145,478	

3 自己評価

	設備点検、簡易な修繕等の維持管理を遅滞なく行った。また、経費 節減に取り組み、指定管理料のうち光熱水費の一部を市に返還するこ
自己評価コメント	とができた。
	貸館業務についても大きなトラブルもなく、適切に管理運営はなされたものと考えている。

運営(サービス) に対する評価	利用者の協力のもと、事故もなく運営している。 施設の設備上の制限があるが、可能な限り利用者の利便性やサービス向上に努めている。
利用状況に対する評価	市民会館の改修終了により、前年度と比べ利用者数が減少しているが、一定の基準は維持している。 ホームページの活用や、利用料金の返還の基準を定める等利用しや すい状況になるよう努めている。

自主(指定)事業に対する評価	勤労者の福利厚生につながる事業を行い、勤労者の教養文化の向上、 福祉の増進、会館利用者の増加に寄与している。
施設維持に対する評価	施設は老朽化が進み、修繕数も増えているが、貸館業務に支障が出ないように施設維持に必要な点検や修繕について遅滞なく対応できている。 台風等災害時にも遅滞なく対応している。
収支状況に対する評価	消耗品や印刷製本費等、最少数の購入やまとめ買いなど計画的に経 費削減を行っている。 こまめな消灯等で光熱水費を削減し、市に指定管理料の一部を返還 している。 簡易な修繕は指定管理者が行うなど修繕費の削減に努めている。
総合評価	事業計画どおり概ね良好に実施されている。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名 加古川市立地域産業振興センター		
指定管理者	地域産業振興センター運営協議会	
指定期間	平成27年4月1日から平成30年3月31日まで	
施設所管課	地域振興部産業振興課	

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	9,468		昨年度利用されていた団体で、活動 を休止したり、やめたりしたところ があったため。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	5,821,000	5,821,000	
(うち指定管理料)	5,821,000	5,821,000	
(うち利用料金)	0	0	
支出金額 (円)	5,821,341	5,822,296	

3 自己評価

	利用者に対してアンケート調査等を実施し、快適な施設の利用がで
自己評価コメント	きるよう対処しているとともに、ボランティアによる修繕等で経費削
	減にも努めるなど、地域に開かれた施設として適切に管理運営してい
	る。

運営(サービス) に対する評価	施設の管理運営業務においては、事業計画通り概ね良好に実施されている。利用者アンケート等により利用者等の意見を把握し、管理運営に反映されていることから判断できる。
利用状況に対する評価	利用者数は指定管理者に指定した平成21年度と比較して増加傾向にある。地元町内会等との連携のもと、きめ細やかな施設の管理運営が図られており、地域の拠点となるよう利用促進にも努めている。
自主(指定)事業 に対する評価	靴下の購入希望者があれば、直接製造・販売業者へ取り次ぐなど、 地場産業の販売促進に努めている。

施設維持に対する評価	清掃業務については業者委託により適切に実施している。修繕関係への意見・要望は多く、簡易な修繕は緊急性のあるものから順次計画的に対応している。 また、こまめな消灯や電源のON/OFF等を徹底し省エネへの取り組みも積極的に努めている。
収支状況に対する評価	不要な支出は認められず、適正に経理処理されている。 また、可能な範囲でボランティアの協力を得て修繕するほか、事務 用品についてはコピー用紙の裏面を利用するなど経費削減を徹底して いる。
総合評価	概ね適正に運営・管理されている。 地域産業の振興と地域住民の生活文化向上である施設の目的に沿っ た管理運営が行われている。 また、経費削減についても、細部に渡り努力が認められる。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	加古川市民会館	
指定管理者	株式会社ケイミックス	
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで	
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課	

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等	
利用者数(人)	191,412	118,098	市制65周年事業2事業の入場者が多数。平成26年度は8月まで耐震化工事のため利用者はなし。	
施設稼働率(%)	41.8	47.0	平成 26 年度は稼働率の低い多目的室が含まれていなかったため。	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	146,354,760	109,548,864	
(うち指定管理料)	103,382,000	82,446,000	指定管理者の提案に よる
(うち利用料金)	30,215,332	18,823,252	H25.9~H26.8耐震 化工事の影響
支出金額(円)	142,448,566	114,890,936	H25.9~H26.8耐震 化工事の影響

3 自己評価

自己評価コメント	(会館施設利用) 会館ホール使用は、前年の耐震化工事による休館期間が利用顧客が戻ってくるのに若干影響したが、利用者から会館ホール内、ロビー共にきれいになったと声掛けいただいたのは日頃の整理整頓と清掃努力と評価している。カーペット敷の多目的室では託児所、展示会、パーティなど多様な施設利用ニーズにお応えできた。(会館実施事業)クラシック音楽をより多くの市民の皆様にと開催しました「加古川クラシック音楽祭 Mini」では地元演奏家との共演による市民参加型公演が好評を得た。また、加古川市制 65 周年を記念しての「森はな先生からのメッセージ」と「新・BS 日本のうた収録公演」は大ホールを一杯にして公演を成功させた。(経費削減)今年度も継続して経費削減に取り組み、光熱水費を予算比約 25%削減し、市に返還できた。
----------	---

4 旭苡川自味計画		
運営(サービス) に対する評価	施設の運営や維持管理については、提案書、仕様書、事業計画書に 基づき実施された。アンケートや提案箱の設置等により、利用者のニ ーズを受け業務改善、サービスの向上に努めている。	
利用状況に対する評価	施設利用者数、利用料金、稼働率について目標値を上回っている。	
自主(指定)事業に対する評価	指定事業、自主事業とも計画通り全ての事業を実施した。参加者数は目標値を上回っている。今後も市民参加事業やアウトリーチなどを計画しており、その取り組みにも期待したい。	
施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費は当初予算の範囲内、備品購入費は当初予算を若干超過したが、指定管理業務の収支の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。また、施設の経年劣化に伴う大規模修繕については緊急性を要するものから修繕計画に基づき対応している。	
収支状況に対する評価	指定事業は支出超過、自主事業は収入超過、収支全体としては収入 超過という結果となり、ほぼ計画通りに予算を執行している。また、 空調運転の効率化により、光熱水費の削減に勤めた。	
総合評価	地元アーティストを起用した公演を行い、市民会館を身近に感じる事業を行っている。また、「加古川カルチャークラブ」、「大ホールひとりじめ〜スタインウェイピアノを弾こう〜」等の市民参加事業により市民会館の新たな利用者を増やす努力を行っている。市制 65 周年記念イベントでは「森はな先生からのメッセージ」、「新・BS 日本のうた」を行い、市の記念イベントにも積極的に協力している。次年度からもさらなる事業展開に期待したい。	

(評価対象年度:平成27年度)

施設名	加古川総合文化センター
指定管理者	小学館集英社プロダクション共同体
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
コミュニティ施設 利用者数 (人)	90,361	93,103	大会議室、創作室の利用の低迷や、 サークル室の夜間区分の利用がほと んどないなど、伸び悩みの状況であ る。
コミュニティ施設 稼働率 (%)	36.3	36.0	_
美術ギャラリー 利用者数(人)	43,063	34,211	夏季美術展「青山剛昌展」(主催事業)などの入場者が多かったため。
美術ギャラリー 稼働率 (%)	64.0	66.6	_
博物館 利用者数(人)	4,397	3,839	自主事業の無料開放や、昔の道具探 検隊に工夫を加えたほか、浮世絵展 示など展示にも変化をつけたこと で、入場者増となった。
宇宙科学館利用者数(人)	4,072	4,121	自主事業の無料開放などで工夫をこ らすが、展示や機器が固定されてい るため、指標値や前年を少し下回っ てしまった。
プラネタリウム館 利用者数 (人)	14,132	11,885	「七夕番組」に多くの保育園幼稚園の来館をいただいた。 繁忙期となる夏番組は、「ドラえもん」も根強い人気があった。また、冬番組時には大人向けの「ナイトフライト」と合わせて、4回投映時の1回目に「ドラえもん」を継続し、入場者数を確保できた。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	136,503,469	137,154,824	
(うち指定管理料)	98,490,000	98,474,000	指定管理者の提案に よる
(うち利用料金)	28,964,878	31,279,309	保健センター移転に 伴う駐車場料金減
支出金額 (円)	137,921,165	137,681,490	

3 自己評価

自己評価コメント

ご利用のみなさまの大半にご満足いただいている状況であるが、建物設備は築30年を経過し、かなりの場所で経年劣化や不具合が発生している。そのなかで、利用者の理解と協力を得ながら、軽微な不具合は職員で補修したり、限られた予算内で修繕実施を行い、利用時のご不便を軽減するよう努めることで、満足度をさらに高め、ファンやリピーターを確保していきたい。

また、共同体各社の専門性を生かして、多くの市民のみなさまの集いの場所として存在を継続していきたい。

運営(サービス) に対する評価	事業実施計画に基づき特色ある事業を行っている。今年度は市制 65 周年記念イベントとして、当指定管理者ならではの事業「夏季特別展青山剛昌の世界展〜デビュー作から名探偵コナンまで〜」を開催した。今後はこれまで以上に利用者の意見・要望を把握し、加古川の文化施設ならではの事業展開を行っていくことを期待する。	
利用状況に対する評価	利用者数、稼働率共に目標値を下回っているが、前年度実績は上回っている。貸館や常設展における利用者ニーズを的確につかむと共に、利用者増につながる事業を積極的に進められたい。	
自主(指定)事業に対する評価	指定事業、自主事業共に当初計画されていたすべての事業を実施することができ、参加者数も目標値を上回っている。指定管理者の強みを生かした事業を今後も行っていくとともに、地元加古川にちなんだ事業を行うことにも期待したい。	
施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費、備品購入費ともに当初予算を超過したが、指定管理業務の収支の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。	
収支状況に対する 評価	収入については、保健センター移転に伴う駐車場利用料が減少した ため、収支全体としては支出超過となった。	
総合評価	施設の管理運営や施設維持管理については、提案書、仕様書、事業計画書に基づき適正に遂行している。事業については大きく目標値を下回るものはないが、毎年、事業の再検討を行い、アドバイザリーボードの意見も取り入れることにより、一層施設が活性化するよう期待したい。また、利用者の増加を図るため、施設の積極的なPRも併せて期待したい。	

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	加古川市立松風ギャラリー
指定管理者	加古川市美術協会
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	20,538	22,217	空調機改修工事により43日間休館したことによる減少。
稼働率(%)	47	45	主催事業で展示室 I の稼働率を高めた。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	18,800,583	18,573,547	
(うち指定管理料)	16,413,000	16,311,000	指定管理者の提案に よる
(うち利用料金)	2,028,838	2,114,780	空調機改修による休 館の影響
支出金額(円)	17,729,064	16,797,629	指定事業費、公租公 課の増

3 自己評価

	施設の稼働率を引き上げるべく企画美術展や創作教室を展開して数
	値目標を達成した。
自己評価コメント	また、税理士や社会保険労務士の助言を得て、運営に遺漏がないよ
	う努めている。
	全体としては、所期の事業計画をほぼ実施できた。

運営(サービス) に対する評価	地域の文化団体とのネットワークをもった指定管理者が地域に密着したサービスを提供した。特に市内で活躍する作家や音楽団体の美術展やコンサートを行うことにより、地元加古川の芸術文化の振興に寄与した。
利用状況に対する評価	空調設備の改修工事(43日間)の影響で利用者数自体は前年度より減少した。しかしながら、前年度から引き続き1階の展示室に可能な限り事業を組み入れ、また、2階ホールの利用を促進した結果、前年度を上回る稼働率となった。

自主(指定)事業に対する評価	自主事業として、指定管理者主催事業である美術協会部門別会員展 (日本画、彫塑・工芸、写真、書道、洋画)を開催しており、指定管 理者のノウハウとネットワークを生かした事業展開ができている。ま た、指定事業においては、積極的な新規事業の展開により、利用者増、 施設認知度アップに貢献している。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・点検を実施。また、早期に必要な修繕を行うことにより、老朽化を最小限におさえる等、適切な維持管理ができている。
収支状況に対する評価	貸館事業による利用料金収入があるが、指定管理料が主たる財源となる。定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内での執行ができている。
総合評価	施設の管理運営や施設維持管理については、提案書、仕様書、事業計画書に基づき適正に遂行、節電等経費削減にも取り組んでいる。また、新規事業の実施、継続的な PR を行い事業周知を図っている。市所蔵作品展を行うことにより、地元に縁のある芸術家の作品を広く市民に知ってもらい、市所蔵の芸術作品を有効活用することができた。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	加古川ウェルネスパーク
指定管理者	STRKS(ストークス)グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	603,492	604,800	音楽ホールに関して、前年比で大幅 な減となったが、これは前年8月まで加古川市民会館が耐震化工事を行った影響で、利用者が一時的に増加していたことが原因である。また、図書館の利用も前年比で減少したが、今年2月に新しく高砂市立図書館が開館したためである。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	399,020,661	399,209,126	
(うち指定管理料)	311,112,000	315,093,000	指定管理者の提案に よる
(うち利用料金)	74,415,781	71,131,971	健康増進施設の利用 増による
支出金額 (円)	396,850,305	410,403,738	

3 自己評価

	複合施設の特長を十分にいかした運営ができている。利用者の声を
運営 (サービス)	積極的に取り入れ、また、地元団体と協力した自主事業の展開をする
に対する評価	など、地域と協働した管理運営ができており、高い利用者満足度を得
	ている。

利用状況に対する評価	健康増進施設についてはトレーニング機器の入れ替え・増設に加え、 プログラムの充実を行った結果、利用者の大幅な増加となった。市民 会館のリニューアルオープンの影響で音楽ホール利用者が大幅減、高 砂市立図書館のオープンの影響により図書館利用者が 2 月以降減少し たが、全体の利用者数としては微減に留まった。
自主(指定)事業に対する評価	指定事業については、以前より好評であったウェルネスプログラムが、初心者向けに短時間の無料クラスを増設したことにより、前年度を上回る利用者となった。自主事業においては、利用者数が目標値を上回っており、ウェルネスサマーフェスティバル等の複合施設であることを活かした取り組みも行っている。また、当施設を含む8施設が同一事業者の指定管理であることを活かして、8施設共通のイベントガイドを毎月発行する等しており、積極的な事業のPRを行うことができている。
施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費・備品購入費ともに予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。ESCO事業においては、ESCO事業者との協力により、適切な設備運転により大幅な光熱水費の削減をすることができた。
収支状況に対する評価	収入全体としては、貸館による利用料金収入が 2 割弱で、指定管理料が主な収入源となっている。支出については、定期的な館内清掃・ 点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、 ほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。多種多様な自主事業に取り組む一方、運営や設備に優れた、質の高い劇場や音楽堂を顕彰する「優良ホール 100 選」 にアラベスクホールが選ばれるなど、複合施設の特性を十分に発揮し、地域コミュニティの中心となっている。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	加古川市立漕艇センター
指定管理者	STRKS(ストークス)グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	21,577	19,637	自主事業が好調であったことや、関 西学生秋季選手権の公式練習での利 用者増などが主な要因。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	29,546,452	29,532,636	
(うち指定管理料)	25,613,000	25,613,000	指定管理者の提案に よる
(うち利用料金)	3,220,430	3,252,648	
支出金額 (円)	33,205,515	30,227,313	人件費、消耗品費の 増による

3 自己評価

	平成 27 年度の利用者数は、前年度比 109.9%(+2,577 人)となり
	利用者数の増加を達成することがきた。
自己評価コメント	施設においては、女子トイレを改善し快適な環境を提供したことで
	大変喜ばれた。
	また、劣化の進んだ艇を更新し貸艇利用者数の増加につなげたいと
	考えている。

運営(サービス) に対する評価	職員がボート修理の資格を取得することで、より安全なボートの管理や、不具合への素早い対応ができている。学校や企業へ積極的に働きかけることで、新たな利用者が増加している。
利用状況に対する評価	宿泊者数増により、利用者数は前年度を上回ったが、利用料金収入 については、自艇の利用が増加し、艇庫代は増加したものの、貸艇代 は微減した。
自主(指定)事業 に対する評価	指定事業無し。自主事業については大幅に目標値を上回ることができた。特に、企業・団体の教育・訓練の場として、レガッタ体験を通じて連帯感を醸成する「レガッタを通じた教育・研修事業」については好評であり、目標値を大きく上回った。

施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費・備品購入費ともに予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入全体では、貸館・貸艇による利用料金収入は 1 割強で、指定管理料が主な収入源となっている。支出については、定期的な館内清掃・ 点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、 ほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、概ね良好に 遂行することができた。自主事業によるボート大会の実施や、各種ボート大会への積極的な協力などを通じ、ボート競技の普及に寄与している。また、ボート以外のスポーツ団体による合宿の誘致などを行い、施設の知名度の向上を図ることができている。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	平荘湖アクア交流館
指定管理者	STRKS(ストークス)グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	81,308	66,575	指定事業の拡充等が功を奏し、前年 度比プール利用者数 12,716 人増、交 流棟利用者数 1,171 人増となった。 その他施設、シャワー利用者の目標 値設定はなかったが利用実績は 3,990 人となった。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	111,477,935	105,179,020	
(うち指定管理料)	61,099,000	61,099,000	
(うち利用料金)	21,028,220	18,570,390	利用者数の増による
支出金額 (円)	106,131,152	119,754,732	人件費の減による

3 自己評価

	0.77 0 - 2.65 2.7 4465 - 10.2 2.42 2.2 2.2 2.2 2.2
ウコシエックン!	25m公認プールを生かした競技の場としてだけではなく、親子ベビ
	ー教室や保育園指導による低年齢のお子様から、水中ウォーキング等
自己評価コメント	に来られる水泳未経験者まで、多くの方に親しんでいただける場とし
	てご利用いただけるようになった。

運営(サービス) に対する評価	指定事業、自主事業共に幅広い事業展開を行い、様々な水泳教室の 実施や、水泳大会の誘致など利用者のニーズに合わせた事業運営がで きている。
利用状況に対する評価	プール利用者数は、教室参加者数増や中高生部活動、幼稚園・保育園の専用コース利用増により、利用者数・利用料金収入ともに前年度 実績を上回った。
自主(指定)事業 に対する評価	指定事業は水泳教室事業が好評で前年度実績を大きく上回った。自主事業においても各種水泳教室への参加者が増加した。指定事業・自主事業ともに幅広い層向けに事業展開しており、多様な利用者ニーズに応えることにより、参加者数の目標値を上回ることができた。

施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	指定管理料が収入全体の 5 割強を占める。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、計画どおりの事業展開ができており、また、必要な修繕・備品購入を執行することができた。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。指定事業及び自主事業ともに目標値を上回る実績をあげることができた。特に自主事業において、障がい児水泳教室、こども基礎体育教室といった特色ある事業を行い、多くの参加者を得ていることは評価できる。

(評価対象年度:平成27年度)

施設名	加古川海洋文化センター
指定管理者	TRSS(トレス)グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
来館者数(人)	244,179	228,687	10月の図書館システム更新による図書室臨時休室、また2月後半より、高砂市立図書館開館の影響もあり後半は利用者数が伸びなかったが、夏期の好天により年間の来館者数では昨年を大きく上回り、目標値を達成した。
研修室利用件数 (件)	442	386	親子教室、各種自主事業の実施で、 年度目標 380 件を上回った。
図書貸出冊数(冊)	229,979	223,948	前年度比では 6,031 冊の増となったが、10月の図書館システム更新に伴う 5日間の臨時休業、及び 2月後半以降の高砂市立図書館開館の影響により目標値に対し10,021冊の未達となった。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	85,276,879	84,954,987	
(うち指定管理料)	77,794,000	77,794,000	
(うち利用料金)	645,250	676,120	
支出金額 (円)	79,037,683	80,094,016	人件費、委託費の減による

3 自己評価

	利用者が海と触れ合い、より親しんでもらえる事業の実施や施設維
	持に施設が一丸となって取り組んだ。海に関わる文化、季節感ある催
	し物、日本の文化の体得など、幼児・児童とその保護者をはじめとし
自己評価コメント	た多くの利用者に親しんでもらえたと考えている。
	また、図書室独自の取り組みとして海に関する資料の収集に尽力し、
	前年より 213 冊の増となった。海洋文化に特化した資料収集、行事等
	を行うことで、より親しんでもらえる運営を行うことができた。

運営(サービス) に対する評価	各種広報活動や魅力ある自主事業の実施により、夏季のじゃぶじゃ ぶ池だけでなく、1年を通してコミュニティの場として親子連れを中心 に利用されている。
利用状況に対する評価	自主事業による利用者の増加や、前年度に比べて夏季の天気に恵まれたことにより、利用者は前年度に比べて7%弱増加し、目標値も達成した。
自主(指定)事業に対する評価	指定事業において、海洋文化事業はシーカヤック入門教室、ペーパークラフト製作教室が目標値を上回った。図書事業はお話し会、ブックスタートの2事業であったが、ともに目標値を大きく上回り好調であった。一方、自主事業については、和凧揚げ体験が好評であり、目標値を大きく上回った。参加者数が一年を通じあり、親子連れの来館者が増加し、館の活性化につながる結果となった。
施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費・備品購入費ともに、必要分を適宜執行しており、 適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、利用料金収入等の占める割合が低く、指定管理 料が 9 割以上を占める主な収入源となっている。支出については、定 期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・ 備品購入を行い、予算の範囲内で、ほぼ計画どおりの執行ができてい る。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。特に子供連れの利用者も多く、海洋文化に関する知識の普及だけでなく、子育て支援の拠点としての役割も果たしている。施設内に図書室があるという特色を生かして、地域の人々の交流拠点のひとつとなっている。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	加古川スポーツ交流館
指定管理者	TRSS(トレス)グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用人員(人)	137,047	126,398	スタジオプログラムを中心とした継続促進を進め、各四半期とも万遍なく年間を通じて前年利用者数を上回った。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	129,296,985	125,411,224	
(うち指定管理料)	71,459,871	71,300,000	指定管理料の変更に よる
(うち利用料金)	50,523,662	47,782,500	利用者増による
支出金額 (円)	131,222,704	130,863,976	

3 自己評価

	健康増進施設においては、事業者交替より 2 年経過し、徐々に信頼
	感を得、利用者増の傾向になった。今後も利用ニーズの変化に合わせ、
百つ莎年っかり	プログラムの見直しや新たなレイアウト変更など提案型の運営を行っ
自己評価コメント	ていく。一方、安全・衛生的な施設づくりが大前提となるため、施設
	の経年劣化による不便を日常の接遇・指導面でカバーしながら、安心
	して利用いただける施設提供を行っていく。

運営(サービス) に対する評価	利用者の要望に積極的に対応しており、利用実績は増加傾向にある。 また、施設の維持管理については、経年劣化による故障等に対して、 迅速で適切な対応をし、安全で快適な施設運営ができている。
利用状況に対する評価	健康増進施設で貸館事業がないため、稼働率は目標を設定できないが、施設利用者、利用料金収入については、ともに目標値を達成した。

自主(指定)事業に対する評価	指定事業として、水泳教室等のプール事業及び、ダンス・ヨガ教室 等のスタジオ事業を実施し目標値を大幅に上回った。また、自主事業 としては体力測定等の従来事業に加え、グローブ空手、ストリートダ ンス等を実施し大幅な利用者増となった。利用者の少ない時間、時期 に事業を行うことによって、施設運営を効率よく行うことにもつなが っている。
施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費については、当初予算を超過したが、指定管理業務の収支の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、利用料金収入等の占める割合が低く、指定管理料が 6 割弱を占める主な収入源となっている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、施設経年劣化に伴う修繕費増で支出超過となったが、ほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。平日夜や土日祝の利用者を中心とした当日券・回数券購入による利用が増加し、前年度収入を大きく上回り、多くの利用者を安定して見込めるようになった。利用者増、事業の拡充により、今後一段と利用者サービスの向上が重要となってくるので、人材育成等のソフト面の更なる充実に期待したい。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	浜の宮市民プール
指定管理者	TRSS(トレス)グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	49,193	41,492	日曜・祝日、盛夏の盆を挟む10日間が利用者ピークとなるが、今年度はそれらの日が殆ど晴天に恵まれ、前年度の118%となった。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	30,238,171	27,162,450	
(うち指定管理料)	6,647,000	6,647,000	
(うち利用料金)	22,994,410	20,101,435	利用者の増加による
支出金額 (円)	32,554,416	43,324,552	人件費の減による

3 自己評価

	前年は異例の天候不順により利用者数減・利用料金収入減となった
	が、本年は特に週末に好天に恵まれ、多くの来場があったが大きな混
	乱もなく、スムーズに運営することができた。
自己評価コメント	また例年同様、健康・安全の観点から、2時間毎にプールより退水い
	ただき安全確認を徹底すると共に、監視員の定期巡回、定点監視を行
	い人身、設備事故ともなく、この経験を次年度の運営に活かせると考
	えている。

運営(サービス) に対する評価	民間企業のノウハウをいかした専門的な知識と技術で、利用者の安全性を確保するとともに、サービスの向上、利用促進ができている。
利用状況に対する評価	前年度に比して好天だったため、前年度比 18.5%の利用者増となった。また、コンビニでの入場券販売等利用者増の工夫をしている。
自主(指定)事業 に対する評価	指定事業なし。自主事業のミニミニライフガード、短期水泳教室は、 低水温や台風の影響も有り、目標値を上回る参加者数は確保できなかったが、計画どおり事業を行った。また、ミュージックショーは好天 に恵まれ利用者に好評であった。

施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費・備品購入費ともに、予算の範囲内で必要分を適宜執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入に占める指定管理料の比率は少なく、利用料金収入が80%弱を 占める施設である。今年度は、好天であり前年度の収入は上回ったが、 目標値には届かず、支出超過となった。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。前年度に比べ利用者も増加し、事故もなく、多くの利用者に安全・安心なプール施設の提供ができた。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	加古川市ウォーキングセンター
指定管理者	農事組合法人みとろ生産組合
指定期間	平成27年4月1日から平成30年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用人数(人)	4,698	3,640	自主事業を展開し、利用者増に努めた。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	4,217,318	3,919,160	
(うち指定管理料)	4,217,000	3,919,000	指定管理者の提案に よる
(うち利用料金)	0	0	_
支出金額(円)	4,217,318	3,971,704	備品購入費、租税公 課の増

3 自己評価

自己評価コメント	ウォーキングセンターの利用者が前年度比約 29%増であるのは、利用者から高い評価を得て、リピーターとして来ていただいていることと、自主事業により新規の利用者にも来ていただいていることがある。また、研修室の利用範囲を広げ、利用者も増えつつある。
----------	---

運営(サービス) に対する評価	同エリアに拠点を置く指定管理者としての強みを生かし、管理運営することにより、地域密着型施設として利用者からは高い評価を受けている。リピーターや自主事業による新規利用者も増えており、施設を知ってもらう努力をしている。 利用者数は前年度比約 29%増であり、目標利用者数と比べても約
利用状況に対する評価	34%増である。利用者を増やすための取り組みとして、自主事業による写真展を行ったり、研修室の利用者を増やそうとしている。
自主(指定)事業に対する評価	ギフチョウの館内展示、地域生物展示を通年で実施しており、窓口で季節に合わせた自然観察等の情報提供を行っている。また、写真展「フルーツパーク周辺の自然」を実施し、施設に来所するきっかけ作りをし、新たな利用者獲得を図っている。

施設維持に対する評価	日常点検・清掃(トイレ、洗体室、鏡、床)を毎日2回実施する他、週1回窓ガラス定期清掃を実施。また、屋外の植木・芝生の手入れも行い、施設を適切に維持管理できている。
収支状況に対する 評価	貸館業務がないため指定管理料が主たる財源となる。定期的な館内 清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を 行い、予算どおりの執行ができている。
総合評価	ウォーキングの拠点として広まりつつあり、ウォーキングの施設利用者から高い評価を得ている。また、研修室の定期的な利用もあり、地元を中心にコミュニティ施設として定着している。今後みとろフルーツパーク等近隣施設と連携した事業も計画している。魅力ある事業により施設を広く知ってもらい、より多くの人が利用する施設になることを期待したい。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	加古川市立日岡山体育館
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	124,350	126,837	第4四半期にアリーナ床工事を行い、 1.5 ヶ月休業した為マイナスとなっ た。
稼働率 (%) ※アリーナのみ	86	82	前年より 4%アップ。婦人バレーボールや学校部活利用が増え稼働率が上がった。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	80,702,734	79,764,570	
(うち指定管理料)	60,385,633	59,542,000	指定管理者の提案に よる
(うち利用料金)	16,603,786	17,812,936	1/25~3/8 床工事休 館によるマイナス
支出金額 (円)	68,965,195	63,734,814	人件費按分方法の変 更による増

3 自己評価

自己評価コメント	第 2 期目の指定管理 2 年目で、施設全体の受付業務も一括集中にて 行い安定感がでてきた。また安全にも配慮して運営できた。
----------	---

運営(サービス) に対する評価	日岡山公園内の 7 施設を一括で管理運営することで経費削減が行えている。また、安全で快適な施設運営も安定的に行えている。
利用状況に対する評価	1/25~3/8 に床張替工事を実施したため利用者数、利用料金は前年度よりも減少しているが、稼働率は前年度を上回っている。

自主(指定)事業に対する評価	指定事業なし。自主事業については、目標値を上回ることができた。 また、ノルディックウォーキングの講習会については、参加者が伸び 悩んでいるが、高齢者の運動不足解消に貢献するという面があること から、PRも含め次年度以降の定例化に期待したい。
施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕料・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、貸館による利用料金収入が2割で、指定管理料が主な収入源となっている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内で、ほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、市民スポーツの拠点として定着しており、市民の健康づくりに寄与している。自主事業についても利用者のニーズを把握し多くの参加者を集めている。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	加古川市立武道館
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	43,181	40,041	各競技協会の利用が中心となってい る。一般の利用が減少傾向。
稼働率(%) ※道場のみ	61	59	利用者増による。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	11,642,268	11,469,624	
(うち指定管理料)	8,177,000	8,177,000	指定管理者の提案に よる
(うち利用料金)	2,887,480	2,768,120	各協会等の利用増に よる
支出金額 (円)	12,714,443	11,510,243	人件費増による

3 自己評価

自己評価コメント	第2期指定管理期間の2年目となり職員も慣れてきている。受付業務を体育館で一括集中管理することにより、点検や整備等に時間を使うことができ、細部まで見回ることができてきている。
----------	--

運営(サービス) に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行う ことができている。利用者のニーズに応えて安全で快適な施設運営が できている。
利用状況に対する評価	利用者数は、目標値・前年度実績共に上回っている。稼働率については、目標値は下回っているが前年度実績は上回っている。各競技の協会利用により安定した利用を確保している。
自主(指定)事業に対する評価	指定事業なし。人気講師の退職による利用者減等により自主事業に ついては目標値を上回ることができなかったが、ノルディックウォー ク等の新規講座等も行い、従来の道場利用以外での活用を行おうとし ている。

施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費・備品購入費ともに予算を若干上回ったが、必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、貸館による利用料金収入、その他が3割弱で、 指定管理料が主な収入源となっている。支出については、定期的な館 内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入 を行い、ほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。冷暖房設備がないことから、夏期及び冬期の利用者が日岡山体育館に流れる傾向があるが、各団体との調整や自主事業の実施等で利用者は増加しつつある。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	日岡山公園グラウンド
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	61,974	59,527	各時間帯において使用団体が定着し たため。
稼働率(%)	91	87	各関連団体、学校利用件数が昨年より増加したため。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	6,783,500	6,441,100	
(うち指定管理料)	2,777,000	2,777,000	
(うち利用料金)	4,006,500	3,664,100	利用件数増による
支出金額 (円)	6,765,171	6,278,454	人件費増による

3 自己評価

	各協会利用、学校利用、社会人利用とバランスよく利用していただ
自己評価コメント	けるよう各団体と話し合いを行い、大きなトラブルもなく運営できている。 平日もほぼ予約が埋まっており、稼働率は上がっている。
	いる。平日もほぼ予約が埋まっており、稼働率は上がっている。

運営(サービス) に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行う ことができている。また、企業の特色を生かしたサッカースクールは 多くの参加者を集め、児童の競技能力向上に寄与している。
利用状況に対する評価	利用者数、稼働率共に目標値及び前年度実績を上回っている。
自主(指定)事業に対する評価	指定事業無し。自主事業のサッカースクール及びグラウンドゴルフ 大会ともに利用者に好評であり、目標値を大幅に上回ることができた。 また、普段グラウンドを利用する機会のないサッカーやラグビー教室 に属していない子供でも参加できる事業として、かけっこ教室を開催 し好評であったことは、利用者の幅を広げるという意味で評価できる。

施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理などが適切になされている。また、修繕費、備品購入費ともに当初予算を若干上回ったが、必要分を 執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	利用料金収入が全体の約 6 割弱となる。今年度は稼働率増となり、 利用料金収入額が増加したが、人件費も増加したため、僅かながら収 入超過となるに留まった。支出については、定期的な清掃・点検の実 施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、ほぼ計画 どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、競技団体と連携をとり、高い稼動率を維持することができている。自主事業についても、全ての事業で目標値を上回っており今後の事業展開に期待したい。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	日岡山公園第1テニスコート
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	18,034	16,710	学校部活利用及び一般利用増加による。
稼働率(%)	52	48	冬場の対策として自主事業を行い、 利用コマ数も増加。中学、高校の部 活利用増。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	6,973,263	6,617,830	
(うち指定管理料)	0	0	
(うち利用料金)	6,649,035	6,332,990	利用者増による
支出金額 (円)	5,367,564	5,078,165	人件費按分方法の変 更による増

3 自己評価

自己評価コメント	冬場のテニススクールでコート1面を使用したが、それによる一般
	利用の減少や意見等も無く、効率的に稼働率を上げることができた。
	整備・点検も強化したが、まだ足りない部分もあるので来年度はさら
	に利用者に満足いただけるよう努めていきたい。

運営(サービス) に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括で管理運営することで経費削減を行うことができている。
利用状況に対する評価	学校部活動利用による利用者数の増加や、冬場に第2テニスコートが凍結し、テニススクールが実施できないことへの対策として、第1 テニスコートにおいてテニススクールを実施したことによる利用者数の増加により、前年度よりも利用者数、稼働率共に増加しており目標値も上回っている。

自主(指定)事業に対する評価	指定事業無し。自主事業のテニススクールについては、目標値を大幅に上回ることができた。また、冬場に第2テニスコートが凍結で利用できない対策として、第1テニスコートを一般利用の使用状況と調整しながら無理なく行い、自主事業を円滑に進めることができた。
施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費、備品購入費ともに当初予算を若干上回ったが、必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	指定管理料がなく、利用料金収入がほぼ収入全体となる。今年度は 利用者が増加し収入額が増加した。支出については、定期的な清掃・ 点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、 予算の範囲内でほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。利用率は人工芝の全面張り替え後、上昇傾向にある。利用人数・稼働率は指定管理1年目から2年連続増加しており、施設運営が上手くいっている。今後も利用者にとって満足度の高い施設にであり続けるよう期待したい。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	日岡山公園第2テニスコート
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	8,332	6,181	学校部活での利用が増えた為増加した。
稼働率(%)	28	26	整備体制を整えるも、冬場の利用減は前年に引き続き課題。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	2,065,401	1,774,634	
(うち指定管理料)	670,000	670,000	
(うち利用料金)	1,273,945	1,018,695	利用者増による
支出金額 (円)	3,360,546	2,867,402	人件費の増による

3 自己評価

	コート整備に費やす時間と労力が年々増加している。第1コートに
自己評価コメント	比べ利用直前でも全面予約ができるので、学校部活には今後も利用を
日口計画コグント	働きかける。次年度は利用料金を 700 円/h (7月より) として、利
	用促進に努める。

運営 (サービス) に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行う ことができている。利用料金を引き下げることで、より多くの利用者 が気軽に利用できる環境を整えるとともに、指定管理者の特性をいか したテニススクールを実施し、多くのスクール生を集めることができ ている。
利用状況に対する評価	利用者数、稼働率共に前年度を上回っているが、目標値には達しなかった。学校部活での使用が増加したことが利用者増の主な原因。また、冬季のコート凍結を防ぐため、にがりを撒くなどして前年度に比べ開場日が増えたことも利用者増につながった。目標値達成まであとわずかであるため、引き続き利用者満足度の高い施設運営を期待したい。

自主(指定)事業に対する評価	指定事業無し。自主事業のテニススクールについては、子供から大人までをクラス別に分けて教室運営したことにより、目標値を大幅に上回ることができた。また、テニススクールにおいて、中学部活で盛んなソフトテニスの受入枠を増やしていることは評価できる。
施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費、備品購入費ともに当初予算を若干上回ったが、必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入のうち利用料金収入が全体の約 6 割を占めるが、今年度は利用 状況欄記載の理由により、利用者増となり収入額が増加した。支出に ついては、定期的な清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要 な修繕・備品購入を行い、ほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。アンツーカコートは、競技団体のほか学校の部活動でも好んで利用されているので、今後もその特性をいかした取り組みに期待したい。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	日岡山公園野球場
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	17,667	17,072	協会利用と学校利用が増えたことに より前年実績を上回った。1 件あたり の利用人数増。
稼働率(%)	49	49	利用日数が前年の+4日。利用件数はほぼ変化なし。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	19,713,438	19,655,707	
(うち指定管理料)	16,365,000	16,365,000	
(うち利用料金)	2,875,860	2,849,920	
支出金額 (円)	21,900,837	20,359,523	人件費増による

3 自己評価

	関連団体と連携し、要望を受け入れ柔軟に対応できた。 大規模な修繕は出来ないが、スタッフによるこまめな補修を実施し
自己評価コメント	た。
	近隣住民からのアナウンスの音量に対する意見にも適切に対応した。

運営(サービス) に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行う ことができている。専門的な知識と技術をいかし、グラウンドを良好 な状態に保つことができている。
利用状況に対する評価	利用者数、利用料金とも昨年度実績を上回った。稼働率については横ばいである。野球協会、学校利用は増えたが一般利用が減少している。

自主(指定)事業 に対する評価	指定事業無し。自主事業としては、投げる飛ぶ走る等運動に必要な能力を向上させるプログラム「ヘキサスロン」を実施。年度末の1日開催となったため目標値を下回る結果となったが、次年度からは目標値を達成するべくPRや日程について検討し、参加者増となるよう期待したい。
施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理などが適切になされている。また、修繕費、備品購入費ともに当初予算を若干上回ったが、必要分を 執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入のうち利用料金収入は全体の約 15%弱であり、指定管理料が主な収入源となっている。支出については、定期的な清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、ほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行 することができた。また、競技団体と連携をとるなど工夫をすること により、稼動率を保つことができている。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	日岡山市民プール
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	29,648	25,985	天気の影響により前年より増加

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	17,421,784	15,579,237	
(うち指定管理料)	3,480,000	3,480,000	
(うち利用料金)	12,756,190	11,122,860	利用者の増による
支出金額(円)	12,170,981	19,889,841	人件費按分方法の変 更による減

3 自己評価

自己評価コメント	前年に比べ天候は全体的に良かったが、お盆以降の土日が悪天候だったため入場者数が伸び悩んだ。
----------	---

運営 (サービス) に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行う ことができている。老朽化した施設ではあるが、専門的な知識と技術 を持つ指定管理者のノウハウをいかし、利用者の安全性を確保すると ともに、サービスの向上、施設の利用促進を図っている。
利用状況に対する評価	8月のお盆後の土日の悪天候により集客が伸びず目標値は僅かに達成できなかったが、天候不順であった前年度の利用者数は上回った。 屋外プールという性質上、利用者数は天候に左右され、毎年度利用者を安定確保することは難しいが、自主事業により利用者数を増やそうとする努力が見られる。
自主(指定)事業 に対する評価	指定事業無し。自主事業の「縁日」を実施した。輪投げ・ヨーヨーつりなど子供に満足してもらえるような内容であり、目標値を大幅に上回る参加者があった。好評であった事業については今後も継続して取り組まれるよう期待したい。

施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費、備品購入費共に当初予算を若干超過したが、予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入については利用料金収入が全体の約73%を占める。利用料金は目標値には届かなかったものの前年度を上回っており、収支全体としては収入超過という結果となった。また適切な維持管理と事業実施により、ほぼ計画どおりに予算を執行した。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。前年度に比べ利用者も増加し、事故もなく、多くの利用者に安全・安心なプール施設の提供ができた。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	加古川市立志方体育館
指定管理者	特定非営利活動法人加古川総合スポーツクラブ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用人数(人)	26,770	24,209	 学校の部活利用増
利用料金(円)	3,455,875	3,266,457	利用者増による

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	9,748,975	9,568,609	
(うち指定管理料)	5,993,000	6,020,000	指定管理者の提案に よる
(うち利用料金)	3,455,875	3,266,457	
支出金額 (円)	8,295,987	8,474,159	

3 自己評価

白コ並伝っまいた	シャワー室のカーテンの取替、足ふき・モップのこまめな洗濯等、
日に評価コグント	シャワー室のカーテンの取替、足ふき・モップのこまめな洗濯等、 利用者に気持ち良く利用していただけるよう努力した。

運営(サービス)	た、アンケート等に基づき、利用者のニーズに応えた運営を心がけて
に対する評価	おり、指定管理者の特性をいかして、スポーツの普及に寄与している。
利用状況に対する	昨年度の利用者数、稼働率の実績を上回る結果となった。今後も利
評価	用者のニーズを把握して事業展開を行い、利用者数、稼働率ともに増
自主(指定)事業に対する評価	加させる工夫をして、施設の有効活用に努められることを期待したい。 自主事業であるシェイプアップ教室が好評であり、参加者数の目標 値は下回っているが自主事業参加者の 64%を占めており、利用者から 高評価を得た事業であるので今後も当事業を継続されたい。また、大 幅に目標人数に達していない事業については、事業内容の見直しやP R等を行い、多くの参加者を確保できることを期待したい。

施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費については、当初予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。また、簡単な修繕については指定管理者(館長)自身で早期対応しており、維持管理を通して市民サービスの向上が図られている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、貸館による利用料金収入が約35%で、指定管理料が主な収入源となっている。支出については、定期的な館内清掃・ 点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、 予算の範囲内で、ほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができている。地元に密着した施設運営ができており、市北部のスポーツの場として親しまれている。積極的に自主事業に取り組み、中でも自主事業のシェイプアップ教室が好評である。利用者のニーズに沿って、今後もより一層サービスの向上に努めて欲しい。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	志方東公園テニスコート
指定管理者	特定非営利活動法人加古川総合スポーツクラブ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用人数(人)	6,238	6,168	天候による稼働率増
稼働率(%)	28.1	28.0	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	6,243,716	6,189,167	
(うち指定管理料)	3,303,000	3,341,000	指定管理者の提案に よる
(うち利用料金)	2,774,960	2,682,755	利用者増による
支出金額 (円)	5,961,210	6,001,859	

3 自己評価

白コ証価コノいし	テニスコートに日陰を作って荷物置き場のスペースを確保等、利用
日口評価コグント	者に気持ち良く利用していただけるよう努力した。

運営(サービス) に対する評価	志方体育館との一括管理により経費削減ができている。また、親し みやすい施設として多くのリピーターに親しまれている。指定管理者 の特性をいかして、スポーツの普及に寄与している。
利用状況に対する評価	昨年度の利用実績を約1%上回っておりリピーターをしっかりと確保している。今後も利用者のニーズを把握して事業展開を行い、利用者数、稼働率ともに増加させる工夫をして、施設の有効活用に努められることを期待したい。
自主(指定)事業に対する評価	自主事業であるテニス教室が好評であり、参加者数も目標値を達成 している。利用者から高評価を得た事業であるので、今後も当事業を 継続されたい。

施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費、備品購入費ともに当初予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、貸施設による利用料金収入が約44%、指定管理料が約53%となっている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内で、ほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。自主事業のテニス教室は、初心者教室等の利用者に親しみやすい事業に取り組んだ結果、利用者数の目標値を上回った。今後も施設の認知度向上や利用者のニーズに沿った事業展開による利用者増に期待したい。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	加古川市立総合体育館及び加古川運動公園陸上競技場
指定管理者	株式会社加古川運動公園市民スポーツサービス
指定期間	平成17年12月2日から平成37年3月31日まで
施設所管課	地域振興部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
総合体育館 施設使用者数(人)	137,544	128,332	1つのイベントとしては、Vリーグの 観客数が多かったことが最大の要因で ある。大会以外の、ジム利用者・部活 や一般利用客が漸増していることが基 礎的要因と思われる。
運動公園陸上競技場 施設使用者数(人)	133,168	142,319	昨年臨時に開催された大会が無くなったことにより減少したが、当該大会を除外した数字では、逆に増加している。これも体育館と同じく、部活や一般利用者が増加していることが要因と思われる。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	381,120,528	442,010,659	
(うち割賦売上高)	171,797,480	222,200,713	
(うち管理・運営業務料)	206,294,942	218,622,840	
(うち利用料金)	0	0	
支出金額 (円)	376,578,382	412,498,948	

3 自己評価

	1. 運営に関する事項 ①バレーボールによる展開 ・みるスポーツ
自己評価コメント	バレーボールのトップリーグであるVプレミアリーグの試合開催 ・するスポーツ 元全日本選手によるバレーボール教室の誘致開催 Vプレミアリーグチームによるバレーボール教室の継続 ・ささえるスポーツ 小学生を対象とした Jr. バレーボール大会開催による競技人口の底 辺の拡大 ②世代間の交流活動 カローリング教室を開講して普及活動を行い、その成果として、各

地(岡山・徳島・大阪等)からの参加者を交えて、第10回大会を開催した。

今後とも総合的に総合体育館・陸上競技場の活性化を図りたいと考 えている。

2. 維持管理に関する事項

清掃に関しては、気持ちよく使用できる清潔な環境を維持するために、充分気を配り、「いつもきれいな施設である」と使用者に評価していただいている。今後もこの評価を維持できるようにする。

設備については、体育館・競技場とも、水回りを中心に経年劣化による不具合が発生しつつあるので、予防保全の観点から、早期発見・早期修理を心がけていく。

運営(サービス)に対する評価	PFI 事業の基本方針である「するスポーツ、みるスポーツ、ささえるスポーツ」の拠点となっており、様々なスポーツで重要な施設として広報することができている。また、アンケートの実施や有識者等による活性化委員会の開催により、サービスの向上に努めている。
利用状況に対する評価	積極的な事業展開により、総合体育館の利用者数は昨年度を上回る実績となった。陸上競技場では利用者数は減少したが、前年度臨時で開催された大会がなくなったためであり、両施設とも部活や一般利用客が増加している。
自主(指定)事業に対する評価	PFI 事業については、市主催スポーツ教室、自主活性化事業等の各教室を実施。V プレミアリーグ等で大いに盛り上がった。
施設維持に対する評価	定期的な点検や館内清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。 また、修繕費・備品購入費ともに予算の範囲内で必要分を執行しており、 適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入については市からの設計・建築費が 45%、管理・運営業務料が 55%の比率となっている。支出は、定期的な館内清掃・点検の実施、自 主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内で、 ほぼ計画どおりの執行となった。
総合評価	PFI 事業要求水準書(一次、二次)に基づく提案書、事業計画書に基づいて、管理運営を確実に実施している。総合体育館においては、活性化事業として様々な教室を実施し、市民の健康づくりに大きく寄与している。また、無料開放している市民クラブルームをはじめ、近隣住民を中心にコミュニティ施設として定着している。陸上競技場においては陸上競技教室を実施し、児童の競技能力向上に寄与している。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	加古川市立しろやま農業研修センター
指定管理者	しろやま農業研修センター管理運営協議会
指定期間	平成27年4月1日から平成30年3月31日まで
施設所管課	地域振興部農林水産課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	21,040	21,884	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	6,381,994	6,240,752	
(うち指定管理料)	6,182,743	6,220,949	
(うち利用料金)	0	0	
支出金額 (円)	6,381,994	6,095,537	修繕費増

3 自己評価

自己評価コメント	運営管理については適切に実施できた。
----------	--------------------

運営(サービス) に対する評価	利用者満足度調査に関するアンケート実施においては、良好な結果 を得ている。特にコメントでは、「掃除が行き届いている」、「職員は親 切で対応が良い」といった意見がも多く、良好に運営されている。
利用状況に対する評価	志方町内に当該施設を含めて類似施設が 5 施設(志方公民館、産業振興センター、志方会館、二の丸会館)設置されている状況において、志方町以外の利用者を増やし、利用者数は指定管理者に指定した平成21 年度と比較して緩やかな微増傾向にあり、評価できる。
自主(指定)事業に対する評価	地域の特性を生かし、「みそ作り」体験教室を開催。参加申込者数は会場・設備等の関係で 10 名程度ではあるが、地域外の住民に喜んでもらえる外、材料となる地産品も知ってもらえる機会にもなり評価できる。
施設維持に対する評価	日常の清掃は管理人が行い、ワックス掛け(年1回)のみ業者委託。 利用者アンケート結果においても「清掃が行き届いている」とのコメントが複数あるほど、管理者自ら施設を大切に取り扱っている。 節電、節水等の取り組みについては張り紙等による啓発により大部分の利用者に浸透しているように思われる。

収支状況に対する	光熱水費についても余剰金が発生、市に返金する結果となり評価する。
評価	経費削減の取り組みについては、特に電気・上水道関係では以前からの取り組み(利用にあたってのお願い等)が利用者に浸透し、協力が得られている。
総合評価	概ね適切に運営・管理されている。地域密着型の施設であるので、 今後も施設の認知度向上や利用者のニーズに沿った事業展開を期待し たい。

(評価対象年度:平成27年度)

施設名	加古川市立農村環境改善センター
指定管理者	農村環境改善センター運営協議会
指定期間	平成27年4月1日から平成30年3月31日まで
施設所管課	地域振興部農林水産課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	28, 945	31, 755	件数は前年と変わりがないが各利用 団体の人員が減少。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	5, 751, 959	5, 751, 959	
(うち指定管理料)	5, 591, 131	5, 591, 131	
(うち利用料金)	0	0	
支出金額 (円)	5, 744, 906	5, 744, 906	

3 自己評価

	設備点検、簡易な修繕等の維持管理を遅滞なく行った。また、経費
自己評価コメント	節減に取り組み、指定管理料のうち光熱水費の一部を市に返還するこ
	とができた。

運営(サービス) に対する評価	地元町内会が主体となった指定管理者であり、地域に密着した運営 を実施しており、利用者から特に苦情もなく適正に運営管理を行って いる。
利用状況に対する評価	利用件数は前年と変わりないが、各利用団体の人員の減少がみられる。
自主(指定)事業に対する評価	2回目の開催となった今年度は冬の健康管理をテーマとし、長期的な健康づくりに役立つ機会を提供できており評価できる。次年度も継続 実施を期待する。
施設維持に対する評価	修繕については、部品を購入して直に修繕するなど対応も早く、また経費の削減にも貢献している。

収支状況に対する評価	経理状況については、適正に処理されている。 会計全体の収支決算は黒字であり、光熱水費についても不用額が市へ 返金され、評価している。
総合評価	概ね適切に運営・管理されている。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	加古川市見土呂フルーツパーク
指定管理者	農事組合法人みとろ生産組合
指定期間	平成27年4月1日から平成30年3月31日まで
施設所管課	地域振興部農林水産課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	128,215	121,209	SNS (ブログ、フェイスブック、ホームページ) とメディア (新聞・テレビ) 等を活用し、広く情報発信したため。また、9月シルバーウィークで連休が続いたため、来園者が増加した。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	59,609,771	58,881,446	
(うち指定管理料)	41,797,576	41,383,000	
(うち利用料金)	0	0	
支出金額 (円)	58,793,560	58,134,815	

3 自己評価

	SNS(ブログ、フェイスブック)において、フルーツパークの季節
	の花、農園、温室の情報をリアルタイム発信し利用者の拡大をはかっ
自己評価コメント	てきた。
	今後もより自然と農業に触れる機会の多い公園として入園者増に繋
	げていきたい。

運営(サービス) に対する評価	利用者アンケートの実施や利用者の声を収集するため意見箱など、 サービス向上に繋げようとする姿勢を維持している。また、無断駐車 をしないよう注意喚起するなど、本来の利用者が気持ちよく利用して もらうための配慮が随所に表れている。
利用状況に対する評価	利用者数は、平成 19 年度以降で一番多い年度となった。 (4 年連続の増加、23 年度比較 17.6%増加) SNS 等による情報を常に更新する等、利用者数の増加に努めている。 また、アンケートによるとイベント来場者のうち 66%がリピーターで あり、魅力あるイベントの開催となっていると評価できる。

自主(指定)事業 に対する評価	バーベキューブース利用者には、手ぶらでも利用出来るよう食材の申込みに対応している。また、地場産業・地域ブランドである加古川和牛も選択できる等、PRと産業推進に貢献している。喫茶ではかつめしをメニューを加え、PRに尽力している。	
施設維持に対する評価	修繕に対しては早急に行動し、修繕が出来るまでの間の利用者等への安全対策も適宜講じている。 広大な敷地ではあるが手入れがよく行き届いている。利用者にはゴミの持ち帰りを周知し、ゴミ箱は一切置かないなど徹底している。	
収支状況に対する評価	温室に係る電気使用量の抑制を工夫したため、ほぼ予定通りの使量となり、光熱水費については不用額を市へ返金となった。また消品費などの出費を抑制し、決算値で黒字となり評価している。	
総合評価	概ね適正に管理運営を実施されている。利用状況については、 続き入館者増に繋がるよう、施設管理も含め事業展開等により一 努力を期待する。	

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	加古川市立知的障害者総合支援センター
指定管理者 社会福祉法人加古川はぐるま福祉会	
指定期間	平成24年4月1日から平成29年3月31日まで
施設所管課	福祉部障がい者支援課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
生活支援センター(人) (施設入所支援)	476	477	
生活支援センター(人) (生活介護)	14,818	14,070	利用増
生活支援センター(人) (短期入所)	762	824	
生活支援センター(人) (日中一時)	259	257	
就労支援センター(人) (通所利用)	27	35	
見学受入(人) (啓発活動)	612	482	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	249,280,074	250,298,855	
(うち指定管理料)	35,313,000	35,313,000	
(うち利用料金)	207,477,834	206,783,214	生活介護の利用増
支出金額(円)	247,714,703	250,339,047	水道光熱費や消耗品 費、修繕費の減少

3 自己評価

	「公立施設」が有する公共性を保ちつつ、「民間運営」ならではの低
自己評価コメント	コスト、質の高いサービス、柔軟かつ的確な対応を実践できたと考え
	ている。

運営(サービス) に対する評価	利用者保護者会を定期的に開催してニーズの把握に努め、送迎バスを運行するなどして、利用者の希望する自立支援と安全・安心な福祉サービスの提供が行うことができている。	
利用状況に対する評価	適切な人材育成及びサービス提供体制の整備等により、安定した利用状況を維持できている。	
自主(指定)事業に対する評価	研修を奨励して人材育成に努めており、また、生活介護及び就労支援の充実以外にも相談窓口を充実(休日の総合相談窓口を開設)させるなどして、総合的な福祉サービスの提供を行うことができている。	
施設維持に対する評価	施設の保守管理(点検、修繕及び清掃等)が適切に実施できている (指定管理者負担となる修繕についても適切に実施できている。)	
収支状況に対する評価	利用者増による収入の増加及び適正支出による経費削減に努めたことにより、適正な状況にある。	
総合評価	事業計画書に基づき、障がい者の生活や就労に関する総合的な支 を適切に行うことができている。 また、積極的な人材育成による良質な福祉サービスの提供に努めて り、法人としての長年の実績と経験及び全国の支援事業者や関係 関・団体との幅広いネットワークと相まって、利用者への細やかな 援が提供できている。	

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	加古川市立つつじ園	
指定管理者	社会福祉法人博由社	
指定期間	『 平成25年4月1日から平成30年3月31日まで	
施設所管課	福祉部障がい者支援課	

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
年間利用者数(人)	10,452	10,844	稼働日数が前年度と比べ 6 日少なかったため。また、利用者の体調不良により、利用日数が減ったため。
1日平均(人)	43.73	44.26	利用者の体調不良により、利用日数が減ったため。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	194,803,433	188,284,422	福祉専門配置·看護 師・送迎処遇改善等 加算により増
(うち指定管理料)	61,714,286	61,714,286	
(うち利用料金)	130,560,945	124,275,140	福祉専門配置・看護 師・送迎処遇改善等 加算により増
支出金額 (円)	181,453,398	176,286,806	職員の増加

3 自己評価

自己評価コメン	卜

今年度は、自閉傾向にある"行動障害"に対しての継続した園内研修、また外部からの専門指導者を招くことにより、利用者の方の情緒安定がさらに図られ、来年度に向けた戸外・室内作業等カリキュラム導入への見通しをつけることができた。また、つつじ園にとって大きな行事であった第1回運動会も保護者の方と協力し合うことにより行うことができ、つつじ園は保護者の方との信頼関係により、共に成長できると改めて感じた一年だった。

4 施設所管課評価

運営(サービス)に対する評価

定例的な家族会との懇談会や、アンケート方式による意見聴取により、利用者の保護者の満足度を把握する取り組みを行い、サービスの向上を図っている。

利用状況に対する評価	平成 26 年度にドアツードア送迎を開始し、利用者増となった。平成 27 年度についても同水準を維持できている。
自主(指定)事業に対する評価	自主事業について、人員体制の課題の解決に向けた調整を行った。 平成 28 年 11 月より相談支援業務を開始予定。
施設維持に対する評価	施設の保守管理(点検、維持、清掃等)を適切に実施している。また、指定管理者負担となる修繕についても適切に実施している。
収支状況に対する評価	経営努力により、昨年度に引き続き黒字となっている。昨年度の黒字により、施設整備を実施し、サービス向上のための環境整備を行っている。
総合評価	他の事業所で対応が困難な利用者を受け入れる公立施設としての役割を認識し、市内の重度な障がい者に対して生活介護事業を適切に実施している。指定する自主事業を開始する目途が立ったことから、確実かつ安定した実施に向けて調整する必要がある。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	加古川夜間急病センター
指定管理者	公益財団法人東播臨海救急医療協会
指定期間	平成27年4月1日から平成30年3月31日まで
施設所管課	福祉部健康課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等	
受診者数 (人)	11,211	11,400	インフルエンザの流行が遅かったため。	
後送者数(人)	451	439 緊急を要する患者が増加した		

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等	
収入金額(円)	106,711,703	113,526,091	インフルエンサ 流行が前年 より遅かったため、 関連の医薬材料費が 減少。	
(うち指定管理料)	106,711,703	113,526,091		
(うち利用料金)	0	0		
支出金額 (円)	106,711,703	113,526,091		

3 自己評価

自己評価コメント	加古川夜間急病センターにおいて、利用者サービスの質の低下を招 くことなく管理運営業務を適正に実施した。
----------	--

運営(サービス) に対する評価	施設の管理運営については、基本協定書、仕様書及び事業計画書に 基づき、適正に実施できている。また、医師不足が問題となる中、安 定した診療体制を維持するために医師の確保に努め、利用者からの意 見や要望にも誠実に対応している。
利用状況に対する評価	年中無休で診療を実施できている。
自主(指定)事業 に対する評価	実施する自主事業なし。

施設維持に対する評価	定期点検や軽微な修繕を行い、施設の維持に努めている。
収支状況に対する評価	物品購入の際には見積り合せを行うなど、経費削減に努めている。
総合評価	夜間帯において救急医療を必要とする者に対し、年中無休で初期診療を実施する安定した体制が確保できている。

(評価対象年度:平成27年度)

施設名	加古川市立別府公民館
指定管理者	別府公民館管理運営委員会
指定期間	平成25年4月1日から平成28年3月31日まで
施設所管課	教育指導部社会教育・スポーツ振興課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等	
利用者数(人)	109, 569	116, 166	使用区分による内訳 青少年 629 人、成人 △8,517 人 高齢者 4,440 人、その他 1,142 人	
利用件数(件)	5, 518	5, 562	使用区分による内訳 青少年 6件、成人△ 495件 高齢者 337件、その他 48件	
稼働率(%) ※屋外除く	44. 8	46. 5	25 年度26 年度件数合計5,022 件4,978 件可能数合計11,196 枠11,232 枠	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	22, 550, 854	22, 829, 810	_
(うち指定管理料)	22, 550, 000	22, 269, 000	_
(うち利用料金)	0	0	_
支出金額 (円)	22, 550, 854	22, 829, 810	_

3 自己評価

	別府地域におけるコミュニティづくりの拠点施設としての役割を十
	分に果たしていると考えている。
自己評価コメント	今後も利用者の声を参考にしながら、地域の意向や要望を今まで以
	上に取り入れた運営を行い、地域に開放された公民館運営に取り組ん
	でいきたい。

運営(サービス) に対する評価	施設の管理運営業務においては、アンケート等により利用者のニーズに応じた管理運営が概ね良好に行われていることは高く評価できる。
利用状況に対する評価	すべての指標においてわずかながら昨年度実績を下回る結果となっている。これは成人区分の利用者減が主な原因である。今後は成人区分の利用者についても増となるような館運営、事業展開に期待したい。

自主(指定)事業に対する評価	指定事業については、昨年度と同等の事業を実施し、事業参加者数 も昨年度実績とほぼ同数の結果となった。 自主事業については、新規事業の実施や事業内容の充実により集客 数の向上を図る取組については高く評価できる。
施設維持に対する評価	修繕、清掃、及び植栽管理については、仕様書に基づき、業者に委託し適正に行われているため良好と評価できる。 節電及び節水については、今後も継続してもらいたい。
収支状況に対する 評価	予算額を超えて執行している項目がいくつか見受けられるため計画 的な執行をお願いしたい。
総合評価	今後についても、地域住民の多様なニーズに応えさらに幅広い利用 促進を図ることで、良好かつ効率的な管理運営業務を実施されること を期待している。

(評価対象年度:平成27年度)

施 設 名	尾上公民館
指定管理者	尾上公民館運営管理委員会
指定期間	平成27年4月1日から平成30年3月31日まで
施設所管課	教育指導部社会教育・スポーツ振興課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	101, 165	98, 330	使用区分による内訳 青少年 △1,139 人 成人 △288 人 高齢者 6,309 人 その他 △2,047 人
利用件数(件)	5, 088	4, 817	使用区分による内訳 青少年 78 件 成人 △162 件 高齢者 390 件 その他 △35 件
稼働率 (%) ※屋外除く	31. 52	28. 68	25 年度 26 年度 件数合計 4,817 件 5,304 件 可能数合計 16,794 枠 16,830 枠

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	20, 682, 932	_	
(うち指定管理料)	20, 682, 000	_	平成 27 年度から指 定管理者制度による
(うち利用料金)	932	_	定官埋有制度による 管理運営を開始
支出金額 (円)	17, 876, 706	_	

3 自己評価

	指定管理の初年度としては、計画された事業は概ね実施できた。また、内容的にも反省点はあるものの、ある程度の満足が得られるもの
自己評価コメント	であった。 ただ、指定管理として地域が主体的に運営する公民館としては、そのことに対する地域住民の理解がまだまだであり、また、地域活動、そしてその活動を通じた地域住民の絆づくりの拠点としての役割については、まだまだ十分なものでなく、今後ともの課題であると考えている。

運営(サービス) に対する評価	施設の管理運営業務においては、アンケート等により利用者のニーズに応じた管理運営が概ね良好に行われていることは高く評価できる。
-----------------	--

利用状況に対する評価	すべての指標において昨年度までの直営館時の数値を上回る結果となった。今後も良好で効率的な運営の実施を期待したい。また、町内会連合会の協力を得て、広報の全戸配布を行った点から地域との連携も上手くいっていることが伺える。
自主(指定)事業に対する評価	指定事業、自主事業ともに新規事業の実施や事業内容の充実により 集客数の向上を図る取組を行い、公民館利用者数の増に繋がった点は 評価できる。
施設維持に対する評価	修繕、清掃、及び植栽管理については、仕様書に基づき、業者に委託して適正に行われているため良好と評価する。 節電及び節水については、今後も継続してもらいたい。
収支状況に対する評価	光熱水費や社会保険料等の支払月のずれにより11か月間での決算となったために執行残額が生じているが、概ね適正に運営されている。
総合評価	今後についても、地域住民の多様なニーズに応えさらに幅広い利用 促進を図ることで、良好かつ効率的な管理運営業務を実施されること を期待している。